

# 食と緑の新城設楽地域 レポート 2024

－食と緑が支える豊かな暮らしをめざして－

(2023年度の実績報告)



全線開通した林道和田田代線

令和6年8月

新城設楽農林水産事務所



## 目 次

1	食と緑の新城設楽地域レポート作成の趣旨	1
2	重点推進事項と目指す姿【目標】	2
3	重点推進事項ごとの主な取組事例	3
	(1) 新型コロナウイルス対策	3
	(2) 意欲ある人材の確保・育成	4
	(3) 持続可能な農林水産業の基盤を作る取組の充実	5
	(4) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進	8
	(5) 災害に強く安全で快適な環境の確保	10
	(6) 地域住民や関係人口によって支えられる活力ある農山村の実現	13
4	地域の特徴的な取組事例	14
5	目標達成状況	18

## 1 食と緑の新城設楽地域レポート作成の趣旨

愛知県は、安全で良質な農林水産物が将来にわたり確保され、また、森林や農地等の有する多面的機能の発揮により安全で良好な生活環境を実現するための「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」（以下「条例」という。）を平成 16 年 4 月に施行し、その理念を実現するための基本計画「食と緑の基本計画」（以下「基本計画」という。）を平成 17 年 2 月に策定しました。

その後、令和 2 年 12 月には、第 4 期計画である「食と緑の基本計画 2025」を策定し公表しました。

新城設楽農林水産事務所では、この基本計画の目指す姿の実現に向け、新城設楽地域の特徴と課題を踏まえ、新城設楽地域重点推進プラン（以下「地域プラン」という。）を令和 3 年 1 月に策定しました。

地域プランでは、令和 7 年度（2025 年度）までに取り組む項目を「6 つの重点推進事項」にまとめ、それぞれに「目指す姿（目標）」を設けて、その目標達成のための取組等を明示しており、基本計画の推進と共に地域として重点的に推進します。

この「食と緑の新城設楽地域レポート」は、地域プランの進行管理の一環として、地域プランの重点推進事項を的確に推進するために毎年度作成するもので、2024 年版では、令和 5 年度(2023 年度)の取組状況等と年度目標に対する達成状況を取りまとめています。



## 2 重点推進事項と目指す姿【目標】

### (1) 新型コロナウイルス対策

- ①農業経営改善計画及び青年等就農計画策定（変更含む）の支援【137件/5か年】
- ②生産施設整備等への支援【75件/5か年】
- ③木材生産における需給調整を効率化するための会議開催【3回/毎年】

### (2) 意欲ある人材の確保・育成

- ①新規就農者数【35名/5か年】
- ②新規林業就労者数【35名/5か年】

### (3) 持続可能な農林水産業の基盤を作る取組の充実

- ①新技術の導入又は技術の改善件数【8件/5か年】
- ②林道の整備延長【42.3km/5か年】
- ③県産木材年間生産量【104,000 m<sup>3</sup>/5年後】
- ④農業生産基盤等の整備更新受益面積【58ha/5か年】
- ⑤鳥獣被害対策受益面積の拡大【235ha/5か年】

### (4) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

- ①いいともあいち推進店のPR【24回/年】
- ②農林漁業体験やイベント、食育活動等の実施【21回/年】

### (5) 災害に強く安全で快適な環境の確保

- ①治山対策面積【825ha/5か年】
- ②農業用ため池の整備か所数【4か所/5か年】
- ③あいち森と緑づくり事業の防災・減災による公道沿い森林整備か所数【2か所/年】

### (6) 地域住民や関係人口によって支えられる活力ある農山村の実現

- ①中山間地域等直接支払交付金を活用した集落戦略の実践に向けた取組【102集落/年】
- ②各種イベントの情報発信【4回/年】
- ③道の駅など地域拠点における年間集客数の確保【1,193千人/5年後】

※網掛けが設定されている目標は、次ページ以降に具体的な取組事例を掲載しています。

※取組事例に記した課名は、主体的に取り組んだ担当課名を表示しています。

### 3 重点推進事項ごとの主な取組事例

#### (1) 新型コロナウイルス対策

生産施設整備等への支援【 目標：75件 / 5か年 】

農政課

#### 【取組内容】

新型コロナウイルス感染症が収束し、経済が回復方向にある中、農産物等の需要の増加が見込まれる。このため、新規就農者の定着支援や産地の生産力強化を推進するため、産地生産基盤パワーアップ事業・山間地営農等振興事業などの補助事業を活用して、新たな機器、機械の導入や施設設備に対する支援を実施します。

#### 【取組成果】

令和5年度においては、下記の補助事業による支援を行いました。

補助事業	市町村	事業内容
産地生産基盤パワーアップ事業	新城市	いちご低コスト耐候性ハウス
初期投資促進事業	新城市	育苗ハウス3棟(いちご)
山間地営農等振興事業	新城市	コンバイン(4条刈)1台始め3件
山間地営農等振興事業	設楽町	魚焼機1台始め2件
山間地営農等振興事業	豊根村	グラップル付きバックホウ1台
農地利用効率化等支援交付金	新城市	いちごプレハブ冷蔵庫

#### 【今後の取組】

引き続き、生産者(組織)、愛知東農業協同組合(以下JA愛知東)、市町村の要望を踏まえながら、計画的な支援を進め、各産地の生産体制の強化を推進します。



いちご低コスト耐候性ハウス



グラップル付きバックホウ

## (2) 意欲ある人材の確保・育成

新規就農者数【 目標 : 35 名 / 5 年 】

農業改良普及課

### 【取組内容】

中山間地域では、農業の担い手の減少・高齢化が著しく進んでいます。

農業改良普及課では、地域の農業基盤を維持し、産地振興を図るため、関係機関と連携して新たな担い手の確保・育成に取り組んでいます。

具体的には、新城設楽地域担い手育成総合支援協議会（構成員：市町村、JA愛知東、（公財）農林業公社しんしろ、県農林水産事務所）と生産者組織（トマト、イチゴ、ハウレンソウ）と連携しながら、就農希望者が計画的に管内で就農できるよう支援しています。



就農相談会の面談

### 【取組成果】

就農林相談会（1回）、新城市アグリチャレンジ相談会（3回）及び現地説明会（4回）への参画と個別相談を行い、60名（延べ99件）の相談に対応しました。

また、県認定の研修機関で農業技術の習得に取り組む3名と個人農家で農業技術の習得に取り組む2名に、青年等就農計画及び資金利用計画の作成など就農に向けての支援を行いました。

このような、取り組みの結果、令和5年度の新規就農者数は6名、今後就農に向けて継続して支援する人が6名でした。

### 【今後の取組】

関係機関と連携を取りながら、就農相談を行い、新規就農者の確保をしていきます。また、就農予定者等が、計画的に就農できるよう新規就農者育成総合対策（就農準備資金）や青年等就農計画等における申請書の作成支援を行います。

### (3) 持続可能な農林水産業の基盤を作る取組の充実

新技術の導入又は技術の改善件数【目標：8件 / 5か年】

農業改良普及課

#### 【取組内容】

新城地域ではイチジク栽培が盛んで、JA愛知東の推進品目に位置付けられています。ほとんど露地栽培ですが、雨水が果実に直接あたると腐敗果が発生し、収穫ロスが多いことが問題となっています。そこで、簡易雨除け設備を設置し、腐敗果による収穫ロスを低減し収益性を向上させることを検討しました。

※「簡易雨除け」とは、イチジクが植わっている畝の上にのみビニルを被覆し、雨水が果実にかかりにくくするもの（写真参照）。



簡易雨除け栽培

#### 【取組成果】

令和5年度に新城市内の生産者のほ場に、簡易雨除け設備を設置し、腐敗果の発生状況等を調査しました。その結果、雨よけ設備の無い慣行栽培に比べ、腐敗果の発生が大幅に減少し、収益性が向上することがわかりました。

#### 【今後の取組】

簡易雨除け設備の設置にかかる費用及び収穫ロスの減少による販売金額の増加額を精査し、簡易雨除け栽培による増収効果の評価を図るとともに、他の生産者に対して調査結果の報告を行います。

## 林道の整備延長【目標：42.3km / 5 年】

林業振興課

新城林務課

### 【取組内容】

森林を適切に管理し、健全な状態を維持するためには、森林へアクセスするための林道が不可欠です。また、林業の採算性向上のためには、機械化による生産コストの低減や、トラック等輸送手段の大型化による輸送コストの低減が必要であるため、林道の役割は一層重要なものとなっています。さらに、林道は、山村地域の生活道や、災害時の緊急避難路としての役割も果たしています。

そこで、林道の開設を計画的に実施するとともに、既設林道の安全性と機能向上を図るため、改良や舗装を実施しています。

### 【取組成果】

令和5年度は、手澤線ほか8路線 1.6km を開設しました。また、法面の保全工事など 3.1km の改良事業や 4.1km の舗装工事を実施しました。

### 【今後の取組】

引き続き、国の補助金を活用するなどして計画的に林道の整備を進めます。



過疎山村地域代行林道事業（開設）  
手澤線 2 工区工事（豊根村）



林道改良事業（改良）  
神田道瓦線（新城市）



## 農業生産基盤等の整備更新受益面積【目標：58ha / 5 年】

建設課

### 【取組内容】

新城設楽地域では、中山間地の地形的な農業生産条件の不利性に農業従事者の減少・高齢化の著しい進行もあいまって、農業用排水施設等の生産基盤の整備・更新が十分でない農地では耕作放棄地が増加し、周辺農地に悪影響を及ぼすおそれがあります。

このため、国の補助金を活用して、区画整理や老朽化した農業用排水施設等の整備・更新を実施し、用水の安定供給、良好な排水条件を確保することによって、耕作放棄地の増加と耕作放棄に伴う悪影響を防止します。

### 【取組成果】

令和5年度は、新城市内及び設楽町内の用水路0.3km並びに設楽町内の排水路0.2kmを整備しました。令和6年度には受益面積36haを擁する2地区が完了する予定です。

### 【今後の取組】

引き続き、国の補助金を活用して、農業用排水施設の整備・更新を推進します。



取水堰の整備（新城市野田地区）



用排水路の整備（設楽町田峯地区）

#### (4) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

いいともあいち推進店のPR【目標：24回/年】

農政課

##### 【取組内容】

いいともあいち運動は、県民の方に、愛知県の農林水産業の応援団になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという運動です。また、愛知県産農林水産物をもっと食べていただきたい、利用していただきたいという「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

この運動の中で、県産品の販売や利用に力を入れているスーパーなどの販売店や飲食店に対し「いいともあいち推進店」への登録を呼びかけるとともに、市町村へのPRを行っています。

##### 【取組成果】

令和5年度は、13店舗に対し「いいともあいち推進店」への登録を働きかけ、新たに1件の店舗が加入し、新城設楽地域では計42店舗となっています。

また、市町村への啓発資材の配布や「いいともあいち地産地消デジタルスタンプラリー2023」の周知を行うなど、積極的なPRを実施しました。

##### 【今後の取組】

引き続き、「いいともあいち推進店」への新規加入の促進や事務所WebページやSNSを活用したイベント情報の発信などによるPRを行い、いいともあいち運動の知名度を高め、県民の方に農林水産業の重要性を理解してもらう活動に取り組めます。



アンディの家 Honey shop&cafe



いいともあいち推進店マップ

農林漁業体験やイベント、食育活動等の実施【目標：21回 / 毎年】

林業振興課

新城林務課

【取組内容】

森林を整備する次代の担い手を確保、育成するために、県立田口高校林業科の生徒を対象に、森林や林業への関わりや関心が高まるよう林業体験学習等を実施しています。

【取組成果】

令和5年度は林業科1年生を対象に新城市の木材市場の見学会と設楽町の伐採現場の見学会を開催しました。また、林業科2年生を対象に豊根村において高性能林業機械の操作体験会と森林・林業技術センターでハーベスタシミュレータ操作体験会を開催しました。

参加した生徒からは、改めて森林の大切さに気付いたこと、自然の中で働ける林業に興味を持ったこと、将来、林業にかかわる仕事をしたい等の感想をいただきました。

【今後の取組】

引き続き、関係機関と連携を取りながら見学会等を開催し、身近にある森林や林業の理解を深められるよう取り組みます。



木材市場の見学



高性能林業機械の操作体験

## (5) 災害に強く安全で快適な環境の確保

治山対策面積【目標：825ha / 5 年】

森林整備課

新城林務課

### 【取組内容】

治山事業では、山地に起因する災害を未然に防止するため、荒廃溪流には谷止工や流路工等を、山腹崩壊地には土留工や吹付工等を、落石危険箇所には固定工や落石防護工等の施設を整備しています。また、ダム上流や集落の生活用水等の水資源の確保上重要な水源地域においては流域保全総合治山事業を地区指定事業として実施し、集中的に整備を進めています。

とりわけ、令和 5 年 6 月豪雨に伴い数多く発生した山地災害では、一刻も早い対策が必要な人家に近接した山腹崩壊に対して、土留工等を施工し早期復旧を図りました。



新城市（被災状況）



土留工（復旧後）

### 【取組成果】

令和 5 年度は流域保全総合治山事業を新城市で 1 地区、北設楽郡豊根村で 2 地区の計 3 地区で実施し、予防治山事業や復旧治山事業等のその他の事業とあわせ新城市で 50ha、北設楽郡で 117ha の区域において、防災機能の向上が図られました。

### 【今後の取組】

引き続き、地域住民の安全で安心な暮らしを守るため災害復旧に努めます。

また、市町村と連携して地元住民との調整を図り、地区指定事業等を活用して効果的に整備を進めていきます。

併せて、山地災害危険地マップやパンフレット等を市町村に配付し、治山施設の役割などを P R して、災害防止意識を高めることにも取り組みます。

## 農業用ため池の整備か所数【目標：4か所 / 5か年】

建設課

### 【取組内容】

農業用ため池は、農業用水の供給だけでなく、自然環境の保全、水辺景観の形成、降雨時の洪水調節や土砂流出の防止などの多面的な機能を有しています。

一方で、農業用ため池のなかには、堤体の耐震性能や洪水吐の能力が不足し、大規模地震や豪雨によって決壊するおそれがあるものもあります。

このため、国の補助金等を活用し、堤体の改修や補強、洪水吐や取水施設の整備を実施することによって、農業用ため池の決壊による農地・農業用施設、住宅、公共施設等の被害を未然に防止します。

### 【取組成果】

令和5年度は、新城市内の農業用ため池3か所において堤体の耐震補強、付帯施設の整備を実施し、そのうち2か所のため池の整備が完了しました。

### 【今後の取組】

引き続き、国の補助金等を活用し、堤体の改修や補強、洪水吐や取水施設の整備を推進します。



松葉上・下池の整備（新城市松葉池地区）



堤体の整備（新城市黒田上の池地区）

あいち森と緑づくり事業の防災・減災による公道沿い森林整備か所数【目標：2か所 / 毎年】

林業振興課

新城林務課

#### 【取組内容】

あいち森と緑づくり事業は、林業活動では整備が困難な人工林の間伐を行っています。中でも、防災・減災の観点から公道・河川沿い及び集落周辺の森林整備を重点的に実施しています。

新城設楽地域では、暴風雨や降雪を起因とする道路沿いの倒木により、道路の遮断や電柱折損及び高圧線断線等による停電が度々発生しました。そこで、道路に接する林帯を一定幅で伐採するとともに、その伐採木を移動・搬出することで、災害に強い森林整備を進めています。

#### 【取組成果】

令和5年度は、公道沿いの森林整備を14か所実施しました。

#### 【今後の取組】

市町村や道路管理者など関係機関と連携し情報共有することで、より効果的に事業を実施し、森林の持つ公益的機能を適切に発揮させるとともに、防災・減災を推進します。



事業実施前



事業実施後

県道81号線沿いの森林整備（新城市）

## (6) 地域住民や関係人口によって支えられる活力ある農山村の実現

各種イベントの情報発信【目標：4回/年】

農政課

### 【取組内容】

新城設楽地域は道の駅や農産物直売所等の交流施設が各市町村に存在するとともに、農村と都市の交流イベント等が多く開催されています。地域の活性化に向け、これら地域資源を活用し、都市住民の農林水産業への理解醸成を図るとともに、地域の農林水産物及び加工品のファンになっていただくことが重要です。

そこで、都市部からの新城設楽地域への人の往来を促進するため、時期に合わせて交流イベントや魅力ある観光情報などを、Webを活用して発信しています。

### 【取組成果】

当事務所の Web ページ「しんせつネット」、愛知県の Web ページ、SNS などにより、計 7 回（24 件）当地域のイベントや観光資源の情報を発信しました。

### 【今後の取組】

都市部からの訪問者を当地域の良き理解者、地域を支える人材として取り込むため積極的な情報発信を継続することにより、都市農村交流の取組を支援します。



星空観察会（豊根村）



東栄フェスティバル（東栄町）



いも煮会（豊根村）

## 4 地域の特徴的な取組事例

### 設楽町におけるニジマス・アマゴ・イワナをはじめとする川魚加工

農政課

#### ◎取組の概要

設楽町は、美濃三河高原に囲まれた山間部の町であり、敷地面積の約9割を山林が占め、3つの河川「豊川・矢作川・天竜川」の水源地があります。

豊川の源流である寒狭川の最上部で、愛知県淡水養殖漁業協同組合はニジマス・アマゴをはじめとする川魚の養殖・加工を行っており、近年では愛知県で育成された養殖鱒のブランド「絹姫サーモン」を商品化し、地域の特産品となっています。

これら養殖魚の生産・出荷を支援する目的で、生産性や加工品質の向上を図るため、老朽化している加工処理施設の設備導入を支援しました。

#### ◎取組の成果

愛知県淡水養殖漁業協同組合では、2023年度（令和5年度）の山間地営農等振興事業を活用し新たな魚焼き機械の導入を行いました。これにより、生産性や品質が向上し、養殖魚の加工量の増加（現在125t→5年後150t）が期待されます。

#### ◎今後の展開

今後も生産者や関係市町村と連携し、漁業協同組合や漁業者が行う水産加工品や地域特産品開発等の地域振興に向けた取組を支援します。



魚焼き機 全景



川魚の甘露煮



## つなぐ棚田遺産「四谷の千枚田」との関わり

建設課

### ◎取組の概要

棚田は伝統や文化、美しい景観、生物多様性、教育の場、国土保全等の多面的機能を有しています。国は令和元年度に「棚田地域振興法」を施行し、棚田を国民共通の財産として保全することとし、四谷の千枚田（新城市）は「つなぐ棚田遺産」に認定されました。

建設課は「中山間ふるさと・水と土保全対策事業」により、四谷の千枚田の保全管理、企業の社員研修、学校等の農作業体験学習等を行う「鞍掛山麓千枚田保存会」を平成18年度から継続して支援しています。

令和5年6月3日、コロナ禍で開催を見送っていた「お田植感謝の夕べ みんなで灯そう千枚田」が4年ぶりに開催されました。



お田植感謝の夕べ みんなで灯そう千枚田

### ◎取組の成果

県営事業により整備された管理用道路やふれあい広場、水車小屋等により、以前は人力に頼らざるを得なかった農作業に軽トラックが使えるようになり、現在も約420枚の棚田が耕作され、保存会による保全活動の一助となっています。しかしながら事業完了から20年以上が経過し、施設の老朽化が見られるようになってきました。

### ◎今後の展開

保存会は保全活動を継続していくため、管理用道路等の更新整備を強く要望しています。

また、今回のイベントに合わせて実施した来場者アンケートでは、回答者の98%が「いまの風景が続いてほしい」と答えています。

地域の宝である四谷の千枚田を将来に亘り保全していくため、支援を継続するとともに、施設の更新整備の事業化を推進します。



農作業体験学習  
(豊橋調理製菓専門学校)

## 地元でシバザクラ苗を生産（豊根村芝桜研究会）

農業改良普及課

### ◎取組の概要

豊根村では、茶臼山高原に「芝桜の丘」を造成し、多くの観光客が訪れる観光名所となっています。約40万株のうち花付きが悪くなったり枯れた株は改植され、毎年5万鉢ほどの苗が必要です。以前は、他県の苗業者から購入していましたが、農業改良普及課から「折角だから、地元の方に苗を作ってもらいそれを購入したらどうか」と提案し、平成28年から地元住民に苗作りを推進してきました。



芝桜まつり期間中の「芝桜の丘」

### ◎取組の成果

豊根村役場と連携し、新規栽培希望者を募集したり、研究会員が積極的に知人に声をかける等により令和5年に新たに3名と地元小学校の3・4年生8名が総合学習の授業として初めて苗作りに取り組みました。この結果、令和6年春には以前から栽培に取り組む地元住民8名とともに約9,000鉢を納品しました。

苗作りに取り組んだ地元住民からは、「皆、楽しみながら苗を作り、仲間も少しずつ増えており地域の活性化を感じる」、小学生からは「自分たちのシバザクラがみんなに見てもらえてうれしい」などの感想が聞かれました。



新規栽培者に挿し芽を指導



小学生の穂採り

### ◎今後の展開

今後も、豊根村役場と連携し、生産鉢数の増加を図りながら、地域の活性化に繋がるよう取り組みます。

## 林道「和田田代線」の全線開通

新城林務課

### ◎取組の概要

森林経営の効率化、適切な森林の整備や維持管理、地域住民の生活道路など、山村地域の振興や生活環境の改善を目的として、平成 26 年度から県営過疎山村地域代行林道事業により開設を進めてきた林道「和田田代線」が、9年の歳月をかけて全線開通しました。

### ◎取組の成果

林道「和田田代線」は、新城市作手地域に位置し、国道 301 号線と県道作手清岳新城線を結ぶ幅員 4.0m、総延長 5,460m からなる幹線林道です。

林道の効果的な活用が期待できる利用区域は 230 ヘクタールにもおよび、その蓄積量は 74,500 m<sup>3</sup>と豊富な森林資源を有します。

和田田代線の特徴として、道路勾配が比較的緩く見通しも良いため、大型車両による木材の搬出や高性能林業機械による伐出作業など効率的な木材生産が見込まれます。

### ◎今後の展開

間伐などの森林施業はもとより、林道周辺の利用期を迎えた豊富なスギ・ヒノキの人工林が、木材として伐って使われ、再び植え育てる「循環型林業」の推進を図る基盤としての役割が期待されます。



林道和田田代線（新城市）



木材の搬出

## 5 目標達成状況

### (1) 新型コロナウイルス対策

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①農業経営改善計画及び 青年等就農計画策定（変 更含む）の支援	137 件/ 5 年	27	54	81	108	137	B
		20	51	72			
②生産施設整備等への支 援	75 件/ 5 年	15	30	45	60	75	A
		16	32	55			
③木材生産における需給 調整を効率化するための 会議開催	3 回/毎年	3	3	3	3	3	A
		3	3	3			

### (2) 意欲ある人材の確保・育成

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①新規就農者数	35 名/ 5 年	7	14	21	28	35	A
		18	28	34			
②新規林業就労者数	35 名/ 5 年	7	14	21	28	35	A
		8	20	32			

### (3) 持続可能な農林水産業の基盤を作る取組の充実

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①新技術の導入又は 技術の改善件数	8 件/ 5 年	1	3	4	6	8	A
		1	2	4			
②林道の整備延長	42.3 km /5 年	8.4	16.9	25.3	33.8	42.3	A
		11.9	23.1	31.9			
③県産木材年間生産 量	104,000 m <sup>3</sup> /5 年後	75,600	82,700	89,800	96,900	104,000	A
		106,067	82,583	93,379			
④農業生産基盤等の 整備更新受益面積	58ha/ 5 年	12	24	48	58	58	C
		0	12	12			
⑤鳥獣被害対策受益 面積の拡大	235ha/ 5 年	48	96	144	190	235	C
		32.85	64.8	78.68			

#### (4) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①いいともあいち推進店のPR	24回/毎年	24	24	24	24	24	C
		22	24	14			
②農林漁業体験やイベント、食育活動等の実施	21回/毎年	21	21	21	21	21	A
		19	20	22			

#### (5) 災害に強く安全で快適な環境の確保

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①治山対策面積	825ha/ 5か年	165	330	495	660	825	A
		199	367	534			
②農業用ため池の整備 か所数	4か所/ 5か年	1	1	3	4	4	A
		0	1	3			
③あいち森と緑づくり 事業の防災・減災による 公道沿い森林整備か 所数	2か所/ 毎年	2	2	2	2	2	A
		17	14	14			

#### (6) 地域人口や関係人口によって支えられる活力ある農山村の実現

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①中山間地域等直接支払 交付金を活用した集落戦 略の実践に向けた取組	102 集落/ 毎年	102	102	102	102	102	A
		102	102	102			
②各種イベントの情報発 信	4回/毎年	4	4	4	4	4	A
		4	7	7			
③道の駅など地域拠点に おける年間集客数の確保	1,193 千人 /5年後	1,149	1,160	1,171	1,182	1,193	A
		1,286	-	1,412			

##### ○評価

- A : 2023 (令和 5 年度) の目標達成率 100%以上
- B : 2023 (令和 5 年度) の目標達成率 80%以上 100%未満
- C : 2023 (令和 5 年度) の目標達成率 80%未満

